

石見銀山学習の取組

大田市教育委員会

1. はじめに

大田市は島根県の中央部に位置する、人口約3万人の町です。北は日本海に面し、平野部は狭く、南は中国山地へと続きます。世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」を擁しているほか、大山隠岐国立公園に含まれる「三瓶山」、日本遺産「石見の火山が伝える悠久の歴史」があります。

市内には小学校が15校、中学校が6校あり、すべての学校で世界遺産の石見銀山にふれる石見銀山学習が行われています。

2. 教育目標

大田市教育ビジョン（平成27年度策定）で示した教育目標の中で、石見銀山学習は、子どもたちが世界遺産である「石見銀山遺跡とその文化的景観」の価値や意義にふれ、地域に誇りをもつことを目標としています。大田市では、石見銀山学習＝世界遺産学習と位置づけ、ESDの理念を踏まえた学習を通し、子どもたちが「地域と未来を見据えつつ、自ら課題解決に取り組む」ことを目指しています。

3. 教育委員会・学校での取組

石見銀山学習では、小学5・6年生、中学1年生を中心に、事前学習・現地学習・事後学習と学びを展開します。各学校では、身近な地域から学習をスタートし、世界遺産：石見銀山と地域の遺産や日本遺産について探求的な学習を行います。世界遺産学習・石見銀山学習は市内のみにとどまることなく、県内・県外の学校での取り組みも増加傾向にあります。

【事前学習】

- ・ 専門講師を招致し、専門知識を学ぶ。
- ・ テーマを設定し、グループや個々で探求する。



▼専門講師による授業



▼間歩見学

【現地学習】

- ・ 専門職（ガイドなど）や地元企業の方からのレクチャーやインタビューを通し、石見銀山や地域の遺産、日本遺産について理解を深める。



▼昔の暮し体験



▼坑内唄の踊り「まきあげ節」

【事後学習】

- ・ 発見や課題解決方法などの成果をまとめ、プレゼンテーションする。
- ・ 発表内容を文化祭や学習発表会などで掲示し、地域の方へ発信する。



▼学習発表会での発表



▼新聞記事作成・展示

4. おわりに

大田市での石見銀山学習は、各校での学習成果を校内・地域へ発表し、また、本協議会で繋がる「学校間交流」及び国外への発表を通じ、距離を超えた交流となっています。

子どもたちは、石見銀山学習を通じ、まちの歴史や町の人々の想いに触れ、シビックプライドを醸成します。同時に、石見銀山遺跡の世界遺産の価値や、世界遺産そのものの意義について学び、ユネスコの精神を体現できることを目指します。

限られた時間の中で、効果的な学習を提供できるよう、教育委員会は今後も教育資源の普及啓発を行い、世界遺産：石見銀山、地域の遺産、日本遺産という題材から広がるより深い学び・探求を通じ、石見銀山学習・世界遺産学習の普及啓発を行なってまいります。